

令和4年度 第1回佐賀県立鹿島高等学校学校運営協議会 会議録

【期 日】 令和4年7月20日(火) 15:00～16:15

【場 所】 佐賀県立鹿島高等学校赤門学舎 会議室

【出席者】 学校運営協議会委員 8名 (内1名はベトナムから zoom 参加) (欠席者2名)
本部事務局教職員 4名
佐賀県教育庁教育振興課 1名

【会議録】

- 開会 (副校長)
- 委嘱状交付
- 委員と事務局の自己紹介

1 学校長挨拶

- ・ 今回の会議には海外からの zoom での参加者もいる。
- ・ 令和4年から佐賀県が、コミュニティ・スクールを導入し、県内の県立学校9校(4校重点校)からスタートした。
- ・ 佐賀県西部地区の少子化が進んでいる。鹿島高校の魅力を高めていかないと中学校、小学校の生徒に選んでもらえないという危機感を持っている。
- ・ 嬉野市教育長と面談、鹿島市校長会、太良町校長会に赴き、地域の子どもは地域で育てる旨の話をしてきた。
- ・ 鹿島高校のスクールポリシーに基づき、学校運営協議会のご意見を参考に唯一無二の学校づくりを推し進めたい。

2 会長挨拶

- ・ 学校運営協議会は、普段から活躍(活動)していることを集約する場。
- ・ 鹿島高校はすでに、県下でも積極的に活動している学校。
- ・ 学校と学校運営協議会が、どういう子どもを育てたいか共有することが大事。
- ・ 活動については、何をしてもいいし、思いついたことからやればいい。

3 議事

- 事務局：(1) 学校運営協議会(学校魅力強化委員会)イメージ図について
：(2) 学校運営協議会組織について
：(3) 各部会について

会 長：今年度、今までにない取り組みは？

事務局：絵画教室は令和3年度からだ、高校生ティーチャー（プログラミング教室、宿題サポート等）は今年度から。小学生に対して鹿島高校生に憧れを持ってもらいたい。ほかには、花ボラなどがある。

校 長：R4年1月19日に大きなイベントとして「先輩に学ぶ」を計画している。学校運営協議会のキャリア部会の目玉。多方面から講師を招聘してパネルディスカッションの後、進路別講座を計画している。6月15日にすでにキャリア教育部会を開き進んでいる。最終的には、生徒一人に大人（卒業生）が伴走者となってサポートしてもらいたい。鹿島高校の卒業生にはそれだけのキャパシティはあるのではないかと考える。

事務局：（4）高校魅力化評価システムについて

振興課：県内でコラボレーションスクールに参加している9校にアンケートをお願いしている。アンケートの集計をもとに学校運営協議会でも協議の参考として欲しい。

委員1：高校魅力化アンケートの趣旨は？また、どの立場で回答すればいいか？

振興課：生徒については、アンケートをもとにどの力をつけているか成長のみえる化をすることができる。また、全国で行っているのだから全国と比べて、鹿島高校の強み・弱みがわかるので参考にして欲しい。

学校運営協議会の皆さんには、それぞれの立場で回答をしていただきたい。それにより生徒を取り巻く環境を把握することができると考えている。

事務局：（5）令和3年度学校評価 最終評価について

：（6）令和4年度学校評価 について

委員2：学校評価計画について、職員はすべて理解しているのか？大変な作業だと思うが。

事務局：評価計画は、それぞれの担当から上がってきたものを職員とキャッチボールをして作成している。理解している。

会 長：成果指標のパーセントはどこが（何が）基準なのか。成果指標にとらわれず、学校評価部会では、この学校が外部から見て素朴にどうなのか評価してもいいのでは。

4 意見交換（予定より15分超過）

会 長：キャリア教育部会の活動について報告を。

委員 3：「先輩に学ぶ」について、旧鹿島高校の卒業生は、全国・世界で活躍している。鹿島実業高校と統合再編して、その活躍のフィールドが広がった。また、鹿島高校出身であることを誇りに思う卒業生も多い。その方々から講演をしてもらい（職業など）身近に感じ、目指すところがクリアになっていけばいい。そして、生徒一人一人に卒業生が伴走者としてついて支援をする。それだけの卒業生は鹿島高校にはいるはず。この活動を通じて卒業後は、今後の鹿島高校生の伴走者となってくれたらいい。それが、唯一無二の活動になる。また、パネルディスカッションを通じて、将来の不安や悩みも受け止めるから安心していい学校だと生徒達に思ってもらいたい。

委員 1：「先輩に学ぶ」の対象は1年生だけなのか。大変いい企画なので、月曜日の5・6時間だけでは短いのではないか？ゆっくり時間をとって講師と距離感が近くなれば効果が高まるのではないか。例えば、2部を別日にし、第2希望まで講座を受けられるようにするなど。

委員 3：zoomでの遠隔講義も考えてみてはどうだろうか。

委員 4：できれば中学3年生にも鹿島高校の先輩の話を聞かせたい。zoomでの参加は可能か？

委員 3：zoomであれば、通学可能な中学校に声をかけてできればいいのでは。

校 長：時間については、第1部を4限目にして、お昼を挟んで第2部を5、6限目にするだけの価値はあるし、中学校も入っていただければなおよい取り組みになる。配信のプロもいる。パネラーの2人については、教育振興課とソロプチミストさんに依頼をお願いしたい。

委員 3：配布された職業マップについて、鹿島高校バージョンができるのではないか。

事務局：鹿島高校バージョンの作成を試みる。

会 長：資料5のアンケートについて、生徒達の意見については手を付けやすいところから実現してはどうか。すべては出来ないと思うが出来る所から。校則などは多く意見があるので検討してみてもどうか。

校 長：本日の終業式で生徒達には、「このアンケートは全てに目を通してしている。出来ることは検討する。実現しなくてもスルーしているということではない。」というメッセージは伝えたところ。

閉会

時間も超過しており、このあと学校評価部会も予定されているため、本日はこれで閉会。

次回の日程については、調整後連絡を行う。